



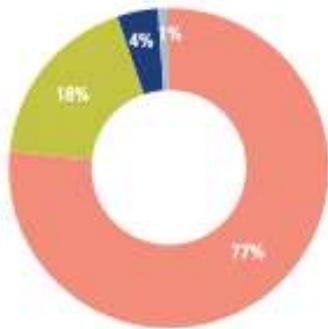
再建と調整

私たちの全体的な成果

パートナー団体への投融資額
9億9,590万ユーロ

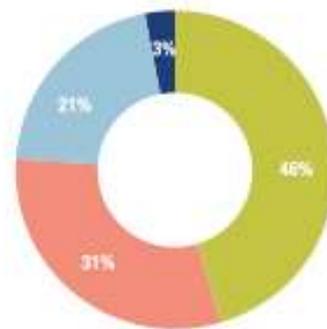
投融資を受けた
パートナー団体数
517団体

産業分野ごとの投融資の割合



金融包摂 再生可能エネルギー
農業 その他

地域ごとへの投融資の割合



アジア アフリカ
ラテンアメリカ・カリビアン諸国 その他



金融包摂における女性の顧客の割合

81%



金融包摂における総顧客数

38.2 million



金融包摂による農村の顧客の割合

61%



金融包摂における
零細・中小事業顧客数

1.13 million



農業において顧客となった総農家数

579,000



再生可能エネルギーにより
クリーンエネルギーへの
アクセスを得た総世帯数

43,000

活動概要

パートナー組織への
投融資総額
9億9,959万ユーロ



投融資を受けた
パートナー組織数
517団体



投融資を受けた
協同組合数
79団体



平均投融資額
190万ユーロ

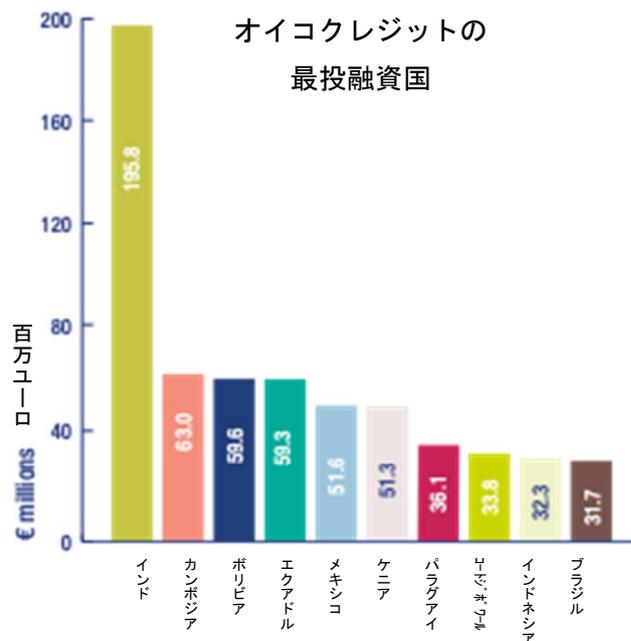


スタッフ数
206人



二酸化炭素排出量
224トン

フェアトレード協会、
ゴールドスタンダード協会が認定したフェアクライメイトファンドの炭素クレジットとともに参加炭素排出抑制に私たちは努めています。



写真：マウノウナ・ドウガンさんは、フィンエラが3年前にパートナー団体として活動して始めてからの顧客であります。アフリカンワックスプリントの生地を販売しています。

プログラムごとの成果：キャパシティ・ビルディング



写真：トレレス・カジャスさんのカジャスワークショップ（通称TC）、TCは、ファミリービジネスで、オイコクレジットのパートナー団体である Cooperativa de Ahorro Credito Jardin Azuayo Ltda の顧客です。

パートナー団体の活動が向上する可能性があるなら、そこに社会的インパクトを広げる入口がある。

オイコクレジットのキャパシティ・ビルディング・プログラムは、私たちのパート

ナー団体に対して新しいスキル、テクノロジー研修や、市場へのアクセスなどのサポートをしています。また、私たちのパートナー団体の財務、ソーシャルパフォーマンスのマネジメントやガバナンスの強化をしています。

私たちのパートナー団体のソーシャルパフォーマンスを強化するために活用する基準は、顧客保護規格（Client Protection Standards）であり、この規格は、SPTF（Social Performance Task Force、世界中に4,800もの団体会員を持つソーシャルパフォーマンス向上や管理を目指す組織）、CERISE（ソーシャルパフォーマンスの向上を目指すフランスの非営利組織）、USSPM（SPTFが作ったソーシャルパフォーマンス向上を計る世界的標準プログラム）、消費者保護コード（Consumer Protection Code by Gogla、Global Association for the Off-Grid Solar Energy Industry、再生可能エネルギーの普及と向上を図る世界的な協会）によって作られたものです。

オイコクレジットのキャパシティ・ビルディング・プログラムのフォーカスは、次の通りです。

- デジタル社会において、エシカルかつ責任のある金融機関へのアクセスの向上・推奨
- ソーシャルパフォーマンスの強化と根付き。
- 小規模農家への持続可能な農業への支援

オイコクレジットは、下記を通じてキャパシティ・ビルディングを提供しています。

- オイコクレジットの職員によるサービスの供給
- 寄付者のファンドを活用したプログラム
- 協力団体により支援・提供されたプログラムを私たちのパートナー団体に対して実施。

キャパシティ・ビルディング・プログラムの投資家、寄付者など

- African Guarantee Fund
- Oikocredit Stiftung Deutschland
- Smallholder Safety Net Upscaling programme (SSUNP)
- USAID
- The Primate's World Relief and Development Fund

キャパシティ・ビルディング・プログラム総額
40万ユーロ

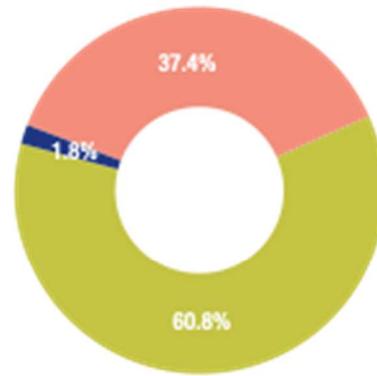


キャパシティ・ビルディング実施国
12か国



キャパシティ・ビルディング団体・機関
50団体・機関

どのような機関にキャパシティ・ビルディングを提供しているのか



金融包摂 農業 その他



Simone Wolfarot Salla and her husband Jonas Salla, farmers and clients of Cresol, in their plant production shelter.

Scan or click on the QR code to learn more about our capacity building.



写真：シモン・ウルファード・サラさんとご主人のヨナスサラさん。パートナー団体クレソールの顧客。彼らの植物生産シェルターにて。

●キャパシティ・ビルディングの事例

ガーナにおける持続可能なビジネスのための女性のイノベーションプログラム (WISE プロジェクト)



目標：ガーナの女性のためにつくられた金融商品やサービスを通して、ガーナ北部（ボノ東部、ボノ、アフアフォ）の女性のための包摂的経済成長と生活環境の向上、経済的エンパワメントをなし得るためのアクセスの向上を目指す。

プロジェクトの概要：2022年、オイコクレジットは、地域のコンサルタントとともに、女性の顧客のニーズに対処できる金融商品やサービスを提供している5つの金融包摂パートナー団体から31名のスタッフの研修を実施しました。研修の結果は、それぞれのパートナー団体もっている既存の商品の特性を改良する方向へと導くための具体的なアクションプランがつけられました。性別に応じて改良されたこれらの金融商品やサービスは、小中規模事業の女性起業家のニーズに合うことが期待されています。

関連団体：ガーナの4地域を対象とし、5つの金融包摂パートナー団体を通して、本プログラムは実施されています。

プロジェクト実施期間：2021年度8月から現在に至るまで。

このプロジェクトは、プラン・インターナショナルカナダとプランガーナのパートナーシップにより実現が可能になりました。このプロジェクトにおいてオイコクレジットはガーナのコンサルタント CDC コンサルタントとともに研修などを実施しました。

西アフリカにおける天候インデックス保険

目標：2022年末まで、セネガル、コートジボワール、マリ、ブルキナファソにて米、キビ、セサミ、ソルグン、豆、コットンを育てている小規模農家における天候に関連したリスクをカバーする保険の促進と普及を早めることを目標とする。

プロジェクト概要：農業を唯一の所得源として生活をしている西アフリカにおける小規模農家は、度々不安定な天候により収益の変動にさらされている。農業保険は、地域によっては非常にコストがかかり、まだまだ発展途上の状態にある。このような状況の中で、この天候インデックス保険は、気候指標により保険の請求ができ、自動的に支払われる効果的な方法かつ、入手可能な方法で、農家のリスクをマネージメント可能にすることを目標にしている。

関連団体：インクルーシブギャランティーは、2017年からオイコクレジットの出資者でもあり、地域において小規模農家に対して天候インデックス保険を提供できる専門的な見識をもち、承認を受けている保険のブローカーでもあります。約60,000（内女性は20,000人）の小規模農家を対象としています。

プロジェクト期間：2020年から現在まで
このプロジェクトは、SSNUP とオイコクレジットインターナショナル財団からの資金が、インクルーシブギャランティーに提供されたことにより、小規模農家への保険の普及率が早まりました。



プログラムごとの成果：金融包摂

なぜ、金融包摂セクターに投資をするのか？

現在、世界中で 10 億人以上もの人々が、公式な金融機関へのアクセスがありません。彼らは、モバイル金融機関を含むあらゆる金融機関の口座を持っていません。そのため、融資も受けられず、貯蓄もできません。彼らのほとんどは低所得層で不規則な収入しかなく、不測の事態に対して対応するリソースもなければ、将来のために何か投資をできるわけではありません。

オイコクレジットは、そのような人たちに対して、投融資のアクセスを増やし、強く持続可能なソーシャルビジネスを作っています。

オイコクレジットから資金を受けた金融包摂を実施しているパートナー団体は、低所得層にとって信頼と責任ある金融サービスを提供しています。零細・中小事業者に対しても投融資をしており、雇用創出にも貢献をしています。

責任のある金融サービスへのアクセスを向上させることは、低所得層へのエンパワメントにもつながります。それは、所得、貯蓄の向上であったり、保険の加入の機会を増やすこと同様に、不測の事態に対応可能なリソースへのアクセスを増やすことであったり、彼らのビジネスの強化であったりもします。

金融包摂によってどのようなインパクトを与えているのでしょうか？

金融包摂の中でもオイコクレジットは3つの分野に集中しています。

- マイクロファイナンス機関
 - 低所得層に対して信頼のある金融サービスの提供。
 - 財政面において安全性の保障と経済的エンパワメントに貢献。
- 零細・中小事業者向けの金融機関
 - 零細・中小事業者向けに信頼のある金融サービスを提供
 - 雇用の創出と維持、事業者の財務状況の健全化に貢献。
- 非伝統的金融機関
 - テクノロジー主体の金融機関
 - 例：フィンテックによるデジタル金融サービスを個人・零細・中小事業者に提供
 - デジタル金融を生かし、顧客に対して金融サービスを向上のための効率化を進めている。



オイコクレジットは、金融包摂を実施しているパートナー団体に、顧客保護基準を支持し、調査を行い、必要であればリスクマネジメントを向上するためのアクションプランを作ることを要求しています。

持続可能な開発目標に貢献



成果

金融包摂による
顧客数
3,820 万人



金融包摂パー
トナー団体数
352 団体

顧客に対して金融
包摂に加えて追加
のサービスを提供
している割合
63%

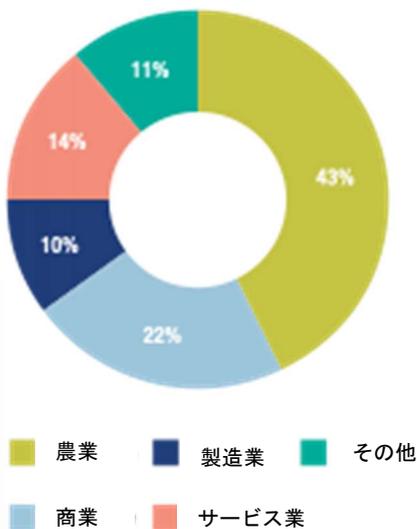
総投融資額
7 億 6,140 万ユーロ



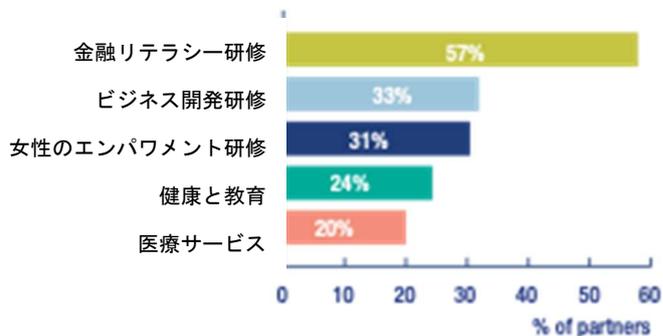
零細・中小事業者
顧客数
1,130,000

投融資を受けて
いる協同組合数
40 団体

マイクロファイナンスにおける顧客の業種



マイクロファイナンス機関が提供する
金融サービス以外のサービス



女性の顧客の割合
81%



農村の顧客の割合
61%



QR コードを読み
取ることで、私た
ちの金融包摂の成
果がわかります。



インパクトストーリー：マイクロファイナンス

ボリビア：クレジット・コン・エデュカシオン・ルーラル・インスティテューション・フィナンシエラ・デ
デサロロ（クレサーIFD）

Credito con Educacion Rural Institucion Financiera de Desarrollo (Crecer IFD)

パートナー団体歴：1999年～現在に至るまで

団体種： ボリビアの低所得層のコミュニティの女性に対して教育や融資へのアクセスを提供する
マイクロファイナンス機関

対象者： 遠方で脆弱なコミュニティにて生活を送る低所得層の女性たち

顧客数： 70,000人もの小規模起業家の女性（2021年12月時点）

インパクト： 個人やグループに融資し、社会的インパクトを提供するだけでなく、Crecer IFDは、子宮頸がん予防プログラムを実施し、自己診断や予防ケアに必要なトレーニングを女性たちに提供し、女性のエンパワメントに貢献しています。昨年、Crecer IFDは、ヨーロッパマイクロファイナンスアワードの次点者でした。

支援内容： 2020年に500万USドル融資を行い、マイクロクレジットを通して小規模事業者の事業成長をサポート。

サポートを受けた顧客（コンセプション・コンチャ・ヴィラリアル・モンロイさん）

コンセプションさんは、実業家で、ボリビアの小さな街にて小さなお店で物品販売を始めたことから実業家人生が始まりました。現在では、その小さな町の小さな店やレストランを掛け持つオーナーでもあります。合計1,000ユーロ（約8000ボリビアーノ）（返済は8ヶ月サイクル）をオイコクレジットのパートナーであるCrecer IFDから融資を受け、コンセプションさんは、ビジネスを成長させることができました。グループローンの構造は、連帯保証人制度なのでお互いを信頼し、頼ることを可能にしています。その女性起業家同士の信頼が、グループ融資の醍醐味でもあります。コンセプションさんは、Crecer IFDが提供している女性対象のヘルスプログラムの恩恵も受けることができました。このプログラムのおかげで、コンセプションさんは、ガンを早期発見し、治療することができました。おかげで自らの子供の成長を見届けることができました。彼女の成功は、村へのポジティブなインパクトも残しています。



インパクトストーリー：零細・中小事業者への投融資



コートジボワール：フィンエレ(Fin' Elle)

パートナー団体歴：2021年～現在に至るまで

団体種： 零細・中小規模事業者や零細起業家対象のマイクロファイナンス機関

対象者： 女性の零細・小中規模事業者、零細起業家

顧客数： 9,000人（2021年において）

インパクト： オイコクレジットから投資を通じて、フィンエレは、コートジボワールの10,000世帯に対して融資することができました。

支援内容： 250万ユーロを融資し、コートジボワール内の女性実業家の支援を行いました。

サポートを受けた顧客

マリナ・アナノウさんは、23年前に小さなビジネスをスタートさせました。服や靴、かばんなどを販売しています。12年前に、店を現在の場所に移しました。初めの店よりかは小さいですが、より豪華で高価なアイテムを販売しています。マリナさんは、顧客としてフィンエレのグループ会社の一つであるコフィナと7年間のお付き合いがあります、また、フィンエレの顧客歴は、4年です。お店の商品の在庫を抱えることが必要だったときにコフィナがこの地域に開業しました。とても良い機会だと思い、顧客になりました。初めの融資額は、850万CAFフラン（13,000ユーロ）で、在庫を抱えるための資金として使いました。現在、2500万CAFフラン（38,000ユーロ）の融資を受けています。私のビジネスが成長するための非常に良い機会となりました。フィンエレのおかげで私の夢が実現しました。

プログラムごとの成果：農業

なぜ、農業に投資をするのか？

現在、5億人以上もの小規模農家が世界の食糧生産にて重要な役割を担っています。しかしながら、その農家の多くは、気候変動の影響による干ばつや洪水、不安定な価格、不公平な競争にさらされている非常に脆弱な環境の中で農業を行っています。

農業に投資をすることは、農村の失業者を減らし、貧困を削減する最も有効的な方法です。加えて、食料の安全確保にも役立ちます。残念ながら、このような農家の人たちにとって最も必要とされている金融機関やサービスへのアクセスは、不足しています。彼らが必要としている金額は、約1,500億USドルです。

このような問題に取り組むために、オイコクレジットは、小規模農家の人と共に活動する社会的且つ持続可能な団体の支援を強化し、投融資やキャパシティ・ビルディングのようなサービスを増やしています。

私たちの農業におけるパートナー団体は、農業の生産性の向上、農作物の多様化、従来の市場より良い環境の市場へのアクセスの向上などのサービスを通して支援を行っています。これらが、所得の強化や向上の実現、安定した農業づくり、農家の人々の生活向上のエンパワメントという形で貢献しています。

農業によってどのようなインパクトを与えているのでしょうか？

オイコクレジットは、農作物の多様化や環境に優しい農業などの方法を標準化・認定することを推奨しながら小規模農家を支援しています。

オイコクレジットは、小規模農家に対して、良い所得の確保やコミュニティに恩恵をもたらした農業関連のパートナー団体を「プレミアムな団体」であることを認定し、その結果を報告しています。

また、私たちは、責任のある農業を実施している農家、農業に対して責任のある投融資を行っている団体とコラボレーションしています。

私たちの農業におけるポートフォリオは以下のとおりです。

- コーヒー
- 穀物類
- カカオ
- フルーツ
- ナッツ



QRコードを読み取ることで
私たちの農業プログラムの
インパクトを学ぶことができます



持続可能な開発目標に貢献



成果



農業への投融資額
1億 8,260 万ユーロ



農業パートナー団体数
128 団体

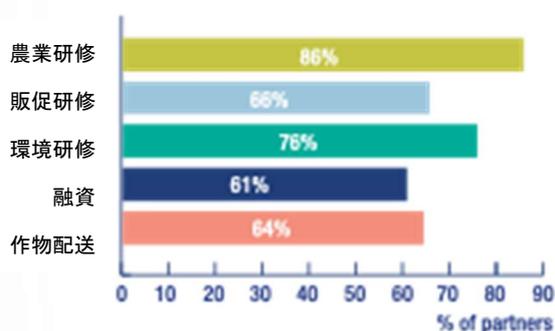


支援を受けた農家数
579,000



女性の農家の割合
26%

パートナー団体が農業以外の追加
のサービスの割合

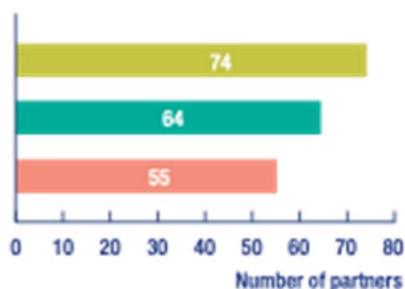


パートナー団体の
農業支援が生んだ
雇用人数
41,000 人

常用雇用率
41%

パートナー団体参加している
環境活動の内容

持続可能な農業
リサイクル・廃棄物管理
持続可能な林業



パートナー団体から追加
のサービスを受けた農家
の割合
94%



私たちのパートナー団体は、
小規模農家からの農作物を
市場価格よりも 13%上乗せ
し、買い取っています。



農業協同組合数
39



フロサートにフェアトレ
ード団体として承認され
たパートナー団体数
52



レインフォレスト・アラ
イアンスや UTZ に承認
された団体数
35



有機農業の団体とし
て承認された団体数
44

インパクトストーリー：農業

ラテンアメリカ 8 カ国：カラヴェラ（Caravela）

パートナー団体歴：2019 年～現在に至るまで

団体種： 小規模コーヒー農家の公正な事業と質を支援且つ保証する持続可能なコーヒートレード団体。

対象者： ラテンアメリカ 8 カ国にて小規模コーヒー農家を支援

顧客数： 4,000 名もの小規模コーヒー農家を支援（内 18%は、女性の農家）2022 年 4 月時点

インパクト： 持続可能な形で質の高いコーヒーを育てるだけでなく、カラヴェラは、社会的にポジティブなインパクトを残すことを目的に低所得地域の小規模農家に支援、投資をしています。カラヴェラは、質の高いコーヒーが、より高価に市場で受け入れられ、販売できるよう、品質検査、技術サポート、トレーニングなどを実施しています。

支援内容： 2019 年からの株出資者からの投資

サポートを受けた顧客

カラヴェラは、自らの「生産性且つ協力的」な活動指針を誇りに思っています。農家のパートナーシップや連携を通して、農家同士の協力的な体制を築くことが、社会にしっかりとしたインパクトを残せるものだと理解しています。このことが活動の基本でもあり、現在、17 もの「持続可能な開発目標」を達成するために働きかけている企業や組織が集まった国連手動のネットワーク「Business Call to Action」にも参加しています。持続可能なコーヒー生産に貢献し、その活動を具体化し、同様の組織に影響を与えたことが評価され、2022 年に、持続可能なコーヒー生産連盟が提供している賞「ビジネスモデル賞」を獲得することができました。

コロナ・パンデミックの中で多くのコーヒー農家の生産がダメージを受ける中、カラヴェラは、その環境に適応可能な組織基盤を持っていることがわかりました。パンデミックがもたらした困難な環境に対応する農家をサポートするために、農家のネットワークから様々な情報を収集することができました。



プログラムごとの成果：再生可能エネルギー

なぜ、再生可能エネルギーに投資をするのか？

世界中で約7億5000万人近くの人たちが、クリーンで、安く、信頼のできる電力へのアクセスがありません。世界人口の1/3以上が、クリーンな調理用燃料へのアクセスがなく、1年間で約400万人以上もの人が、室内の空気汚染が原因で命を失っています。

再生可能エネルギー供給事業者に資金を供給することは、オイコクレジットのパートナー団体の持続可能なソーシャルビジネスの強化になります。私たちのパートナー団体がより強化されれば、より多くの低所得層世帯に必要な製品やサービスが供給され、クリーンエネルギーへのアクセスを増やすことができます。

クリーンエネルギーへのアクセスの向上は、低所得層の健康的な生活のスタンダードになります。加えて、エネルギー関連において所得向上となる仕事を増やすことができます。

再生可能エネルギーによってどのようなインパクトを与えているのでしょうか？

私たちは、常に社会的インパクトに集中し、以下のようなプロジェクトを実施しています。

- オフグリッド・ソーラー
 - 各世帯にホームソーラーシステムを設置し、それを通してオフグリッドな太陽光電力を供給しています。
 - 農村のコミュニティには、ミニオフグリッドソーラーを設置し、電力供給を行っています。
- 電力に乏しい貧困層世帯へのオングリッド発電設置プロジェクト
 - ソーラー、風力、水力、バイオマスのような再生可能エネルギーを活用。
- クリーン調理用燃料
 - 燃料効果の良い調理用コンロに移行させ、薪を燃料とした調理からクリーンエネルギーへと転換している。



持続可能な開発目標に貢献



QRコードを読み取ることで、私たちの再生可能エネルギーの成果がわかります。



インパクトストーリー：再生可能エネルギー



ナイジェリア、ウガンダ、ケニア：M コパ（M-Kopa）

パートナー団体について

パートナー団体歴：2020年～現在に至るまで

団体種：プリペイド式のスマートフォンとソーラーパネルによるエネルギーシステムを融資

対象者：ナイジェリア、ウガンダ、ケニアにおいて電気が行き届いていない、農村、都市近郊の低所得層の人たち。

顧客数：3,000,000人（900,000世帯）2020年7月時点

インパクト：Mコパのソーラーエネルギーは、6.3メガワット分の再生可能エネルギーを作り出しているだけでなく、150万トン分ものCO2排出の削減に貢献しています。

支援内容：オイコクレジットは、約500万ドルを融資し、ナイジェリア、ウガンダ、ケニアの10,000世帯を対象に電力の供給と携帯電話へのアクセスを供給しました。

サポートを受けた顧客

ジョン・キモールさん（写真左）は牧師であり、ケニア農村でマンゴーやアボカド、パパイヤやメイズなどの農業を営んでいます。また、彼は家畜も育てています。2017年からMコパの顧客でもあります。Mコパからソーラーパネルのパッケージを供給される前は、灯油を使い、家の明かりを灯していました。灯油のランプは、ソーラーと比較すると暗く、一部屋灯すのにやっとでした。灯油からの煙は、体に悪く、呼吸することを困難にさせていました。灯油代は高価で、電力を起こす機能はなく、携帯電話の充電は、他人に頼っていました。Mコパの顧客になってから、早速、ソーラーパネルセット（ソーラーパネル、電池、3つの電球、ラジオ、懐中電灯）が供給されました。その後、同様のソーラーパネルセットをもう一枚増やし、テレビが見られるようになりました。これまでは、近くの街でテレビを見に行っていたのですが、今は家でテレビを妻と一緒に見ることができます。太陽が出ない日でも、部屋を明るく灯せます。健康も向上し、灯油の煙に悩まされなくなりました。ソーラーパネルセットの分割払いも終了し、ソーラーセットも完全な自分の所有物となりました。

コミュニティにフォーカスしたアプローチ

2022年から2026年までのオイコクレジットは、新戦略として住居、教育、ヘルスケア、水や衛生に活動領域を広げ、コミュニティのレジリエンス強化することにしました。

地域コミュニティの最大のニーズに対して深い識見をもち、それらの地域で既に活動をおこなっている既存のパートナー団体と共に、このコミュニティアプローチによるプロジェクトを実施しています。低所得層のコミュニティのレジリエンスを強化していくためのサポートを実施するためです。これらのプログラムに加え、オイコクレジットは、金融包摂やキャパシティ・ビルディングを実施していく予定でいます。また、同様のミッションを持った組織でオイコクレジットのパートナー団体ができないこと（ファンディング、技術支援、インフラ整備など）などを実施していく予定でいます。

パイロットプロジェクト

オイコクレジットは、今後数年間コミュニティへの支援を包括的視点から実施していくために、パートナー団体によるコミュニティにフォーカスしたプロジェクトの試験的サポートを始めました。プロジェクトを新たに実施するのではなく、試験的にそのプロジェクトに取り組み、それが「実用最小限の製品」(Minimum Viable Product =MVP)かどうかを判断しています。現時点で多くのところからこのようなプロジェクトに取り組みたいというポジティブな反響を得ております。

現在、オポチュニティインターナショナル共にパイロットプロジェクトの一環としてガーナ、ケニヤ、ナイジェリア、セネガル、ウガンダにて取り組んでいるのは、低所得層の子どもたちの教育向上プロジェクトです。カンボジアでは、カンボジアのマイクロファイナンス機関のチャムロエウン、水と衛生に取り組んでいるアクアフォーオールと協力し、水と衛生のプロジェクトを進めています。また、ラテンアメリカでは、エルサルバドルのパートナー団体とも協力し、低所得層の住居の支援を行っています。ブラジルとのパートナー団体とも、水と衛生の支援を行い、パイロットプロジェクトを広めています。

実用最小限の製品を開発に駆り立てるものまたそのニーズ：

実用最小限の製品	SDG	ニーズ
教育		世界の6億人の子どもたちは、学校に行けないか、標準以下の教育を受けています。
健康		世界の40億人の手頃で質のあるヘルスケアへのアクセスがありません。
住居		世界の16億人の人々が不適當な居住環境の中で生活を送っています。
水と衛生		世界の45億人の人々が、安全で衛生的な水や衛生施設にアクセスすることができません。
地域インフラ		世界の7億5900万人の人々が電力へのアクセスがありません。



QRコードを読み取ることで、コミュニティにフォーカスしたアプローチがわかります。



インパクトストーリー：教育に対してのコミュニティにフォーカスしたアプローチ

教育と金融のコラボレーション

目標：低所得国における教育への投資不足に取り組む。地域の学校の自立に必要な資金を供給するだけでなく、子どもを学校に送る両親に必要なリソースへのアクセスを支援する。

概要：ガーナ、ケニヤ、ナイジェリア、ウガンダに短期集中的に3年間資金を投入する。低所得層の子どもたちの質の高い教育へのアクセスを支援する。

パートナー団体：低所得国の教育向上を支援するオポチュニティインターナショナルと地元の金融機関をサポートする。

プロジェクト期間：2021年から現在

支援内容：低所得国の160万人もの子どもたちを対象にしているオポチュニティインターナショナルのEduFinanceプログラムに対して、1億USDを金融機関を通して投資する。





オイコクレジット・ジャパン（インパクトレポート 2022 ダイジェスト版）